※令和３年度以前入学生用

学校番号	３０３

令和５年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史Ｂ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	高校世界史　改訂版　　（山川出版社）						
副教材等	歴史風景館　世界史のミュージアム　（東京法令出版）						

１ 担当者からのメッセージ（学習方法等）

・歴史の時間軸、大陸別や内陸対海洋など空間の両方を感じる。
・歴史という時間の中で、歴史的事象が「なぜ」「どんな関係で」起こったのかを考える。
・歴史を背景とした世界の国の諸事情を把握するとともに、現在の日本の在り方を考える。

２ 学習の到達目標

・世界の歴史の概要を理解させる。その際、諸資料や地理空間的関連の中で具体的に理解させる。
・文化の多様性や複合性を広く捉え、現代社会の各国の特質を考察させることで、歴史的思考力を養う。
・世界の歴史を、日本の歴史と関連付けながら理解し、国際社会に主体的に生きる人間としての自覚と資質を養う。

３ 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	歴史的・地理的事象に対する関心や課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する人間としての責務を果たそうと努力できる。	自ら課題を見出し、世界形成の歴史的過程と各地域の生活・文化の特色を多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえて公正な判断を下し、その過程や結果を適切に表現できる。	関連する諸資料を収集して、有用な情報を適切に選択できる。またそれを効果的に活用できる。	世界形成および日本形成の歴史的過程とその生活・文化の地域的特徴についての知識を身につけ、理解できている。
評価方法	ワークシート	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	定期考査 確認テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４ 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	第Ⅲ部 16～19世紀の世界	・アジア諸地域の動揺	○	○		○	a:近代直前の西アジア・東アジアの巨大国家が、西洋近代社会の影響で動揺していることを、積極的に学ぼうとしている。 b:近代直前の西アジア・東アジアの巨大国家が、内部からの鳴動や、外圧が及んできていることを、多面的に考察し、理解している。 c:近代直前の西アジア・東アジアの巨大国家の動揺を、資料や図版を収集し、積極的に活用している。 d:近代直前の西アジア・東アジアの巨大国家が、西洋近代国家の影響を受けて起きる事件や運動について、知識を身につけ理解している。	定期考査 ワークシート 歴史地図
	第Ⅳ部 19世紀帝国主義～21世紀の世界	・帝国主義とアジアの諸民族	○		○	○	a: 欧米列強では帝国主義の一方で労働運動が高まってきたこと、帝国主義競争が列強の緊張を高め、第一次大戦へとつながったこと、列強の侵略にさらられたアジア諸国での民族運動などに関心をもって学ぼうとしている。 b: 経済力と軍事力を背景とする欧米列強による世界の一体化が世界各地に与えた影響について考察し、表現しようとしている。 c: 各地域、国際関係の実情を把握できる諸資料を適切に活用している。 d: 帝国主義を進める欧米列強の特性と国内問題、緊張が高まる地域、アジア圏での民族運動の形成などについて基本的な知識を身につけ理解している。	定期考査 ワークシート 歴史地図

※令和３年度以前入学生用

2学期	第Ⅳ部　19世紀帝国主義～21世紀の世界	・二つの世界大戦	○		○	○	a:初めての世界大戦の理由と意味、その特性について関心を持って学ぼうとしている。戦間期の国際協調の取り組み、大衆を基盤とした新しい民族運動、世界恐慌とファシズムの台頭、第二次大戦の国際関係について意欲的に学ぼうとしている。 b: 世界大戦がこれまでこの戦争と異なる点、ロシア革命とソ連の意義、戦間期の国際協調の失敗、ファシズムと大衆社会の関係などについて多角的に考察し表現しようとしている。 c: 各地域、国際関係の実情を把握できる諸資料を適切に活用している。 d: 帝国主義諸国間の覇権争いの結果としての第一次大戦、ロシア革命とソ連の成立の意味、ヴェルサイユ体制の問題点、中国・インドの民族運動、世界恐慌の影響とファシズム国家の動き、第二次大戦の惨禍などについての基本的な知識を身につけ理解している。	定期考査 ワークシート 歴史地図
		・冷戦と第三世界の独立	○	○		○	a:東西冷戦構造、アジア小地域の独立と建国の問題、国際政治・経済の緊張・融和、第三世界の危機、オイルショックと国際経済の再編について、現代の世界のあり方と共に積極的に学ぼうとしている。 b: 東西両陣営の経済政策やアジア･アフリカの新興独立諸国による第三世界の台頭について考察し表現できる。また、冷戦の終結をソ連の改革と関連して考察し表現できる。 c: 地図や図版、資料、写真などを適切に活用している。 d:戦後の国際秩序、冷戦構造、第三世界の連帯などの知識を持ち、戦後政治の転換にあたる動向を理解できている。	定期考査 ワークシート 歴史地図

※令和３年度以前入学生用

３学期	第Ⅳ部　１９世紀帝国主義～２１世紀の世界	・現在の世界	○	○	○	○	a：東欧社会主義圏の消滅と経済のグローバル化の進展、途上国の民主化の進展、社会主義国家の変容、各地の地域紛争とテロなどについて関心を持ち学ぼうとしている。 b：東欧社会主義圏の解体とソ連の消滅について歴史的意味の多角的な考察、中国・ベトナムで進む市場開放と工業化の考察、湾岸戦争や対テロ戦争から新たな国際秩序のあり方の考察などを行い、表現できる。 c：資料データ、写真などを活用している。 d：東欧社会主義諸国の改革、ソ連の解体、各地の民主化運動、グローバル化の諸問題、対テロ戦争などについての基本的知識を身につけて理解しようとしている。	定期考査 ワークシート 歴史地図

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。